

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

歌は人を笑顔へ元気にする

新聞

読者をほげます
安心安全

マイ避難計画
命をどう守るのか
を考えるために

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

写真に残してこれから生きていく人

へ伝えていく

すぐ近くで死んでしまう
生きろのに必死

なぜ写真がある?

写真が記憶を記録する

途中ではがしたくない

逃げずに最後まで話さうといふ
話を聞く

・備蓄
・避難経路
・教科書で頭を守るなど

姿勢でいてくれ
親とほほえむ
ことも大切!

あの日を忘れない

震災で大切な方の、亡くなる
までの人生

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

この防災学習を通して、改めて考えることで「今まで何が」「たくさんありました。小学校の時も、小さい頃からいわれていた、「まずは自分の命を守る」ということ、「備蓄や避難経路の確認の大切さ」、「震災のことを伝えていく意味」など、考えることができました。周りの人も守りたい。と言っていて実際に地震やおこって自分が精一杯になってしまってはならないとも思いました。大切な方のことを決して忘れないでいたいと思いつつ、「母に備蓄している?」とよく、「多分ではない。とにかく備蓄用袋あるけどなー」といっています。地震などの自然災害はいつかくるやうかわからないので、はやめに準備しておこう!と思いまして。

今日、ニュースで「地震のことについてきました。東北で「おこるといわれている地震」

1つから学ぶ

地震は1回で終わると限らない

2回目やあるかも

1.自分を守る

2.周りの人を守る

阪神・淡路大震災

・淡路を忘れない

・淡路でも大切な方がある

かにる確率が"70%から80%"へ変わっていて、北海道におけるといわれている地震のかにる確率が"90%(or80%)から100%"へなつてしましました。それを見たとき、南海トラフ巨大地震や山崎断層の地震もこれからかにる確率が"じんとん増んでいく"のはばいからとてこねくなりました。南海トラフ巨大地震は"70~80%ずく"で危険はあるので、毎日大切にかにる地震にも備えて生活していくかと思ひました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

名倉さんの、「あかり(さん)」という名前の由来がすごく良いなと思いました。と、その由来から、名倉さん自身が新聞記者やメディア関係につづる。と小学生のときから考えられていて、そのことを実現されてしまふのか!本当にすごいな、と心に残りました。

三好さんのお話で、人の命を守るのも大切だけど、まず自分のことを守らなければいけない。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

石野さん、ショセフさん、田中さんの3人のお話を聞いて、

ショセフさんの話では、関東で東日本大震災を被災されたお友達の表情で、やるはり被災された方にには共通の匂いが「あられた」なと感じました。

「あの日」... 1.17たけてはなく、震災で亡くなられた方々の

「生まっていた日」を指している。
どれだけ備えても震災はそれを超えてくる。

→全員がヒリ万劫されないように。
過去のこと
知識を高めて。
から学び。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

今日、名倉さん、三好さんのお話をうかがったり、他にも先生たちや田中さん、石野さんのお話を聞いて、一番いいなと思ったのは、表情についてです。最初の方に名倉さんのお話を當時高校生だった方に聞いて聞いたときからEP象に残ってましたか? ショセフさんのお話をでもそのときに上がったと矢張って、どこで、どんな震災だったか、大いに違つても、みんな恐怖や不安、怒り、苦しみなどは共通の匂いがあったんだって、よく分かりました。でも、分かりたといつてたからこそ、たくさんいろいろ話を聞いて知識を身に付けていたいな、と思います。他にも、三好さんのお話で、人の命を守るために大切なことを、まだ自分の命を守る」ということで、まだ地震が起つたら、いくつ知識があるても、ハニッシュにならず早く避難訓練はしないといふ。これも起こりうることはみんなで、自分にも避難訓練は大切だよといふと、今月の5、6時間自ら学んだことをひらく、いい=完善して、防災に対する意識を高めたいと思います。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 一番 名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

安全神話の崩壊

優先順位

忘れられない
1人1人に人生があるた

改めて感じた地震の怖さ

名倉さんが取材したかいことをたくさんおぼえています

忘れられない

7歳の男の子

明日作ったカレーを
食べようと、楽しげにしていた

おいっこの表情

いつも笑顔なのに、

あのときの表情は

見たことがないくらい怖がって

安全安心の情報

6434人 マイ避難計画

その子にとっての明日は
もう来なかつた。

震災が彼にこんな顔をさせた

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

生きることに一生懸命だった。 震災から学ぶ 備え+備えでもそれを超えてくる

写真も思い返すことが怖い。 もう、たしかに自分の人生を尊重する
人が日を忘れない

人を助けたい

まずは自分をどうか
しながらいけない。

取材

防災ずきん

→

あの日になつた人の

自分の身は自分で

話をせんばはっさく。
忘れない

逃難経路

これまでの人生

想像(もしも…)

人命

人権

命

今じゃない

伝えたいこと

怖いといふこと × → 明日、今からでも、

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

私は実際に話を聞いて、被災者の気持ち(苦しさ)や、あの場での 少し変わってしまった。
新聞の大切さ、写真をとる人側の気持ちが全然分かってなかつたんだなあ
と改めて思いました。

私は大震災に遭つたことがないので、被災者の気持ちになりきろうとしても、なりきることができないですが、もし自分が新聞記者(写真の人)だったら、とか、被災に遭つていたとしたら、っていうのを考えたら、自分のことで精いっぱい、新聞を届けよう、作ろうという責任感なんて、なくなつていったんじゃないかな、と思いました。悲しさ、怖さ、苦しさなどを写真に収めてかこうと震災を経験していない私たちに「つけてくれている」というのがどれだけすごいことなのか、とても感じました。

第一部の名倉さんの話から おいっこの表情の話を男の子の明日のカレーについての話がとても、いいに残っています。震災が人間にさせた数々の食の感情、どれだけ乗じかっていても必ず「明日が来るとは限らない」ということ、色々な人の話を聞いて、とても、危機感になりました。

今日聞いた話を絶対無駄にしないよう、明日(今)からの生活を少しでも変えていきたいと思います。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

自分の命をどうもろかに必要だと聞いて分かりました。また話を聞いて、地震の被災した人は大変な目にあっており前の日常が一瞬で消されてしまふのが悲しくて、悲しくなってしまいました。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

家族としっかりと話し合う。1月を忘れないのではなく、1月17日まで生きてくれた人たちは、それを忘れないことが大事だということが分かりました。また、地震はいつ起るか分かりないから備えが必要だということが分かった。備えたとしても、力がない場合があるということを分かりました。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

しっかりと自分の命は自分で守ることが大事だといふことが分かりました。南海トラフが僕たちが死ぬまでにはくるといわれていて、起きておたらしくして求める命が求まらない時間がもつたないので、自分でなく他の生きる人へしていただきたいと思いました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

取扱いをとおして大切

・しゃべりをいよいよ

・朱札のなにかうに

新聞の特徴

安心・安全の情報を

・食料支援(地震)

・感せんじょうきょう(コロナ)

自分の命をどうもろみか

震度7 縦横ゆれ 波とおどる 机ろ、かくねてあべる まどわれる

安全神話のほうかい

72時間の壁

人の命

消防車こない=火の関連死

災害はくりかえす

備え=ゴールはない

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

記録を記録する。水をくばることも大事だけでも写真をとることもたのしい。か、とう

いつじしんたとわかるのか？=よくわかる　ハ配したこと？これをのせてもよかったですのが→ほっとした。

今年も思い出してくれると言われて泣いた。ストップをかけることは？きいてて辛い思いで

泣いてしまった方にストップをかけようになる。それはどうと思つてはなしてくれて3の1に

失礼だ。だからとめない。

ぼうさいげんない

何で自分をまもるのか　どうひょんあるのか　しんせいから手がれていい

あの日を忘れてよい。

1.17のことかなへ1.17まで生きていた方を忘れなければ"おこうといふ。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

話すていてあんまりじんとはこなくて、よくわからなかっT=17と。

友達のお母さんは、めちゃくちくせわになつている人で、その話をきいてみると身近に本当にあつたなしたと痛感しました。

気が付ける。意識ある。とは言葉には出しそうけど、本当はよつて場合、それが"できるのか、と考えたら"生むななど思いました。

私は、あとまわしにしたり、したくなつと思ふことが"あ'ガ'くて、地震などか"おきたばあい、あとが"なりと考えると、大変だ"と実感しました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 1番 名前 _____

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

・名倉さん 話している途中で、話せなくては、えしまう人も…
→ひいてしまう。そこではいけない。

えてしまうとそこで話すよーいだ。た声がきけなくては、えしまう！

・どんなに大丈夫といわれてもそれでもこえる災害かおこうします。
→安全神話はまだが、ている。

・すぐちで理由として災害だけではない。

→避難所での病気(仮設住宅も) → 神戸では11所で最後までかえた人もいた。

すぐちで、たその顔がこわかった…

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

・生徒 経験をしていいからこそ知らないといけない！

防災に対する意識を高めていかなければいけない。

→ハザードマップのかくにん。話し合いですることが大切。

人名と人権
を守る

・「あの日」を忘れない。あの日とは、すぐちで方のすごしてき人生のこと。

見て、表面をかれるだけではいけない。その背景にはにがあるのか。

災害から学ぶことがある。→ 防災・減災につなげる。

→備えて、それをこえる可能性は結構ある。

災害に対する
システムを
つくるべき。

・考えないかないとダメ → 自分、周りの人を助けるためにも。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

災害を経験していいからこそ、自分たちが、直撃声をきくことが
大切だと感じました。だんだんその当時を知っている人が減って
いくこのご今、正しい情報を知りながらいけないのですが、考えたいをた
いと思います。私は今日の話の中で「あの日」を忘れないと言った話
が心に残っています。私も「あの日」ときくと阪神・淡路大震災のことだ
と考えていました。でも、「あの日」というのは、すぐちで人のすごしてき
人生だときいて、心をうけられました。忘れてはいけないのは、そこまで、人生
まずは、生きていって、過去があるということでした。ただ、災害とはねにか
をしろことだけが大切なのがはなくそこでおきたうらやみ、背景
はねにかみ、でのかでと思いまして。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

LRのホームページに掲載されていた。
加古川の仮設住宅で1100個も
阪神淡路
大震災の死者は6434人
命を守る

名倉さんが手本する前にすこしや
当時の写真と今の写真をくらべたり、

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

震災が走ってきたときにどう行動すればいいか、どうやらかぱん、7にならないうち
自分の命を大切に

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

コロナウイルスも自然災害に入っているからコロナにも備えながら
地震にならなきとかのことを考えようと思いました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

29

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。そくからいた方の親たったりが、もうなくては、てしまったり、みんな^{年寄}によられて、その時の状況を矢張ることのできることを、今のうちに、聞かないと、これからに、伝えにくことがでません。僕たちは、地震の怖さを矢張りないのに、今の方に受けたり、次の世代に語り継ぐのが、僕たちの役目だと鬼りました。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

質問をえたり、200mの音声確認をしていて、しかし理解できていなかつてもありますか、TVに残ったのは、政府に防災科を作、てほいと言っていたところでの、あれ、確かにな。と思いました。学校の防災学習についてたり、「伝えろ」という所に聞いても、とてもあると思って、TVに残りました。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

今回、学習について、災害は、いつのまでもおかしくない、明日がくるかも分からぬといふ世の中に生きてると考えると、おかしいなと思ひました。1日1日大切にして、自分の命は自分で守り、他人も守りたいなと思ひました。
災害の怖さを、次の世代につなげて、またとんと思ひました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

記者を歴します記事を作ることを竟争している
自分の命をどう守るのか考えるべき

1995年1月16日、いつも通りの生活をしていた。でも次の日には
地震が起きて日常生活がうばかれることが恐しいと思いました。
記者は災害後写真をとて状況を伝えなければならぬ
とても辛いと思いました

自分の命は自分で守る

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

記憶を記録する なにげない会話で2つの選択肢で
ひとり方を選ばれこいたら本棚の下敷きになっていた
逃げてはいけないという気持ちで取材をしている
地震に対する意識をするべき 避難はどのようにすれば
本当に地震が起ったときにどう対応していいのか考えていくべきだと
一つ一つの災害から学ぶこと ハザードマップは経験から作られたもの
そこから防災、消防につながっていくのではなかかと思いました。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

今日は阪神淡路大震災について学んだ。話を聞くまでは、
自分の命は自分で守るということを改めて知り、その行動をすることが
生きて震災が起ったときに助けられるし、これから日本の日本を
担う人材などまずは自分の命は自分で守ることが大切に
していました。記者も取材をすると同時にへらい鬼として
するは生きているならそのへらいことを後世に繋げていく
おもしろしさを教えていくことが大事なのではないかと思ひました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

1日1日を
大切に生きる 記者として、問い合わせ続ける。
震災を知らない世代がどう伝えしていくか ⇒ 震災を知る。
安心安全の情報を

72時間の壁
ボランティア

東日本大震災

7くなれた1人1人の人生 ⇒ 思いを
報道する。

災害は繰り返す
「備え」にゴールX

→ 津波でんでんこ

自分の命 ⇒ どう守るか。
→ 避難

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

震災と実感したとき ⇒ 窓ガラスバキバキ、外がちがうところ

報道する上でつらいこと ⇒ 知らない世代、遺族の気持ち ⇒ 嬉しいのか悲しいのか
→ストップ ⇒ 泪が止まらなくなる ⇒ 先はいいの言葉

重ねて、学習

意識

少しでも言葉をつむぐ ⇒ しんけんに聞く
→逃げてはいけない！

家族や仲間と話し合っておくこと ⇒ 討ち合わせておくこと。

どのように震災と向き合うか ⇒ そのことから何を感じるか(モニメント) ことを忘れ
ない

自分から興味をもつ ⇒ 学び

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

震災を知らない私たちの世代がどう伝えていくか、ついにはとても大切な課題だと思った。もし、震災が今起こったら、自分の命は自分で守らなければいけないから、日頃から備えておくことしかないと思った。私たちの日常、いつもながらある日突然崩れてしまうことがあるのだということ風化させてはいけないと思った。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

2/12

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

地震を感じたのは、地震だけでなく火事も発生したし、それによって消防車で来れない非常事態であることを分かづけた。その後、どのような対策がされていたのか気になっていたので、また調べてくれたり、授業でも自分たちで新しいことを考えていく。ということです。これが目的です。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

本当に緊急事態が起きたときには、やはり冷静な判断ができることがよく分かりました。これは自分の家や街などで変わったことで、それに対して行動することができないからこそ、自分のやることを決めておくことで、生き残ることができると思います。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

2つを通して感じたことは、未来について考えることが重要だと感じます。経済的にどんなことを対策するのか、自分は何をするべきなのかと事前に考えておくことで、自分に安心感が出てきます。正確には、何にもないエクササイズですが、判断しているところは100%合格になりますから、この授業を思い出してください。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

12時間の壁

→ 3日以内ならまだ可能性がある

3日以上は厳しい

ルカリエ
→多くの人が
死んで

新聞は、安全で安心できる情報を
色々な人に教えてたり、
人の事と考えて作っている。

安全神話

→テレビなどで話しているのを
あまり信以為い方がいい。
しっかり対応してみる

歴史でん

歌の力

自分の命と手が守る。
→それから周りの人の事を
考える。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

2月に写真とった。

→同じ生きることで
死んで

どうぞここ
伝えたいと
思って

自分が死んだが、
→どんな事が起きたかが分からぬ。

災害が起る
→いつの

橋一木だった。

周りを見られてから

日の家、森の行動が

記憶に残っている。

→親が自分を守っていた。

娘さんとてやめた人の死

これで皆に娘のこと知つたらう。

→かまいかか連いのかくかじゆうか、
死んで

災害で
死んで

死んで
死んで

講じてよく実行できることか

→避難者の手帳でなく

写真を撮ることを有能であるか。

震害時に、家族と確認しておく。

「あの」とは、てくとうすでの人生のこと。

用前の人からして話しても

→そのから逃げない。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。 →最初は阪神・淡路大震災のことと思っていた。

新聞といふものは、僕達にとって安心、安全なもので、一人の事と考えて作っていたり、
テレビの情報が絶対正しいというわけではなくから、しっかり対策などをしてたり
することが大切だったり、様々な災害からたくさんの事と学び、生きても大切で
いうことが分かったのですから、まずは周りの人の事を考えるのではなく、自分の身を
守るということがとても大事で、いつかが分かれたのをめざして、
そして、カメラに記録を残すは、とても危険だったり、そこまでしきり可能性能もあるが、
一眼レフで記録を残していくのが分かったし、講義だけではなく、実際に災害が
あたったとき、実行できるかといふのもとても大切だと分かることがわかつてたり。
そして、災害は事前に準備をみて、少しでもできる確率や何かを助けるなどが減らから、
そこで、家庭と確認して、何でもかまわないのである。そして、とても大切に何かが大切に
取扱うために思ひました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

遺族に話を聞くのは大変だけれど、それを伝えなさいといけない

12時間の壁

1212の災害をふり返る

忘れない、そして一生を報じよう。

遺族の事をしっかり思って記事を書いていく。すごいと思いつく

、安らぎの内容を書く

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

一線被災者もやけど二線被災者も注意しないといけない

記録されているのを次へ次へつなげていく

被災地の子にいたして助けてほしい

遺族の気持ちを考える

災害が起きた時、どう対策していくか

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

やはり新聞記者の方達はすごいと思いました。自分は全然知らないで地震が起きたらハアニングになってしまって思いました。けど、写真をみて、苦い思いをしながらも聞いていたので、自分には本当にできることを感じました。

家族と防災について話したり避難経路などで決めておこう。防災減災を意識して普段の生活から考えておきたいと思いました。自分の事をまず優先してその後に他の人を助けてたりしていきたいと思った。

人命と人権を守ることが大切

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

知ったがためにもしない。
72時間の壁
ライラ化して安心で生るようにな
命と命と大切に。
当時の空は不穏だったのに思ひました。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

生きていて何が命か
大切な命を守りたい
写真を撮ることは、役立つのか
崩れる者があるときに頼る。
泣いてこれ以上話せない。
崩れが怖い
人助けの強さである。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

防災学習は地震がメカニズムの生態にも色々な見方があるんだ
と思いました。また、一つの生き物が違うものはとても多いことがわ
りました。人の話を聞くだけじゃなくて、聞こうとする努力が必要なんだ
と思いました。
誰が死んでるかいるなら、最後まで聞かないといけないと感じ
ました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

・ しんじいは、17回でした。それでなんかいざから、17回のことを、
17回で8月、それで、
17回で8月、それで、→ 23回のへや。といふ、おしゃべり、大きくな
ったんだ。
写真を記入してのことで、それをみてはじめてよく。
もとひたすらひかんである。
あの日をわかったはい → 1/17 から4647日後、しんじい、74歳だったときだ
1/17 が生きていた日を出す。
自分の命とつなげなければ。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

・ 写真を記入してのことで、それをみてはじめてよく。
もとひたすらひかんである。
あの日をわかったはい → 1/17 から4647日後、しんじい、74歳だったときだ
1/17 が生きていた日を出す。
自分の命とつなげなければ。
◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

伝える意義の経て書いていくよ。しんじいはこのおじいさんといふ、まだ
死んでないという人に、まだ生きていることをうたっているたり、
ヨコをのこしていけるのは大丈夫であるといつた。それで、3人ある
先生のうち2人はヨコをのこしていけると書かれてた。しんじい、86歳87歳といふ、
まだ生きているけれども、まだ生きているといふ、生きるうつ
あると鬼うのう。どうや、そこを書いていくと書いてあると感じた。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

◎内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

震災を知らない年代に言葉(文)で伝える

いくら年がたっても昨日のように感じる。

高校生のがい子の話が
記憶に残った。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

写真→後に残す(子供達に) → 震災を知らない人に
おもいだすために 伝えていく

ハザードマップよりも
大きく予想する

震度が大きいと早く
記録に出ない

最後まで話を聞く。
写真一枚アリは
その状況を撮る。

家族と防災けい路、どこに集まるか
もう一度確認がゆくと思った。

自分でどうにかしないと
いけない

川だけじゃなく
1.17雪を忘れない
1.17雪
1.17 X
1.17 O

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

新聞は相手(読者)に対して震災を伝えるために写真一枚アリは、
状況を伝えるのは難しいと思った。震災が起きてもどう流場所
を決めておこうと思った。行動に責任を持ちなが交換こうと思った。
ハザードマップよりももっとすごいのが来ると思ったりして震災に対する意識
をしていきたい。⇒震災を知らないからこそ。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 2番 名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

。あの地震で上りき、下りき大きさでないからこそ、ねじだせれども、元々のままのまま。
震災を伝えながら何でそれを下りてひどく思いました。

安全安心の情報

。阪神・淡路大震災(1995年1月17日)は「被害報道」と同様に「安心報道」が重要な役割を果たしました。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

。写真や記録は一番大切な場景を伝えるものだと思います。それをお伝えする記者さんは何よりも大切だと思います。それは、その場所で何が起きたか、何が起こったかを正確に伝えることです。そのためには、何よりも現地で撮影した写真や、現地で取材した記事が重要です。

。表情をよく見つけたり、あくびにあたやかに優しく笑う少年がみんなに笑って、中には顔に涙がある子や、目の腫れ出している子など、現実感がありながらない、という雰囲気。これがいつまでも心に残るから、(長い時間で見ていたくて、今は今も)命が、家族と一緒にいることが、何よりも大事だと感じます。それが最も一目でわかる「震災」だと思います。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

。震災とはいつも命から離れて、いつも備えをしていても震災は必ず来るところ。命の大切さ、一度失してしまった人の防災学習や意識をつけていき方が良いと感じました。私の震災からいざなうべき事はあります。何で生活の中では自分が命をしっかり守る。誰かが命を守らなければ起きる時に冷蔵庫に付けておきたい。普段が家族と一緒にいるのが大切だと思った。25年たった今、自分の大切な命が守れる日がまだない。命が失なわれ、尊い命を無む(=なし)はならないから大切だと思ふ。これが想傷して普段から備えをしないでいたいと思ふ。

「尊命」「命」、「人権」

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

もし地震があきこへあが 田倉さんは どんな名前だったんだろ。
むかたさ

安全神話のほうから

人にいかり伝える

・騒→木くらべ

・土砂くずれもよろ

・津波こんご

・新聞のとくちょう→プラス面もおしえる
人から不安からなる

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

地震後は、どれども、自分のことで精一杯だったのが大

写真にとってのこすとて、次の時代につなげるにとが大切

地震予知はあるにならないと思つた。

逃げるとは相手を、ぶりよくする行いにならなければ。

自分の意識が大切→日頃からの考え方。

・「あの日」→ 1/17ではなく、その人の人生をさす。

ひみつもくろへき。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

今回、自分は何回も防災の話を聞いて、いつも先生は、「それはええ」と

といわれるのですが、せわり、「これは大丈夫」というあま、たれた意識があったのが

今回、採用。いつよこがわからぬ、「何が起きてもしかたがない」から。

常に回りを見て、冷静に行進していく。

よく石山などにさせられてる、「あの日」は 1/17のことではなく、その人の人生をさす

とわかった。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

記者として災害を理解しなければならないけど

当時の被害者として災害を理解しないといけないと大変だと思った。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

みんな同じ動画を見てうのに感じ方がそれぞれちがう。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

未来を知るために過去を知る必要があるから

今回知れて良かったです。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

心に残ったこと

- 約6000人 いなかったら6434人、何うのが、1人1人大事にしていくと云う
- 何十年たった今七、八人の話をまとめてきたなと思いました。
- 新聞を見て、色々な気持ちになること。
- 人に伝える大切さがある。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

- 写真とともに何よりも大切ではなくても、仕事をともに、ともに生き、ともある。
- 知識を人に伝えて、自分たちもしっかりしていくことが大切かな。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

今残っているものとか、言葉とかで伝たわるものや、それ以外のもの
をたくさんありました。

けいけんしている人から聞く言葉は重みとか重みがうなと思って、うううので、色々な災害を
もっと学んでいたいと思いました。

みんなが言ってる、生きている間地震なんか全体おきうと思うから、家に帰るとこか、
などと思ってたけど、じつはじいさんがくまとこわがでいるより自分の命も守らなければ
いけないとかがさらにわからました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

- ・ い人が災害により被災されたのがわかりました。
- ・ 全国の情報を伝えながら大事なわかりました。
- ・ 一人でなく人の人生と教えてくれました。
- ・ 自分の命は誰と大きくかわりました。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

- ・ 伝えられたおかげでわかった。
- ・ 早く近くにいることをねらって。命がある。
- ・ 伝えられたの大で。
- ・ 親類へつなげたりしておく。
- ・ シャツと防災のまずは。
- モニメント
・ 自分が何なく、二つめに何を感じたのかな。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

- ・ 自分には大切な家族があり、親類や友達の人には、守れないようなる家族あるので、しかし自分でももりながら、家族を守るためにいたり。
- ・ 遠くのは先に立つがのではなく、行動でなく自分で立つがのありました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

安全安心の情報を流している

死者だけではなくいい情報も。

まず、自分の命を守ってほしい

震災をとおして、自然災害がおこった時、自分がどのような行動をとるのが考へえることが、必要だと思った。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

いつもおきるか分からぬ自然災害はすこしのすれわせんたくて生きる命が死んでしまうかがわかると思いました。

します「自分と家族で話し合いハザードマップやぼうさくバックを持っておくことが必要だと思いました。」

一つ一つの災害から学ぶことが大切

命と人権を守ること
が大切

東日本ではつなみがくるなどを災害からいり自分やまわりの人たちの命を守ることが大切

災害とこれから向むかっていくことが大切だ

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

と思いました。

いつくるか分からぬ自然災害は自分やまわりの人たちの命や生活をくわしていくので、とうぜんのようになる明日かぜったいにくるとはかぎらないので、1日1日を大切にして、自然災害から学び災害と向き合って自分たちの命を守っていきたいと思いました。

自然災害に向き合っていくために、家に帰ってきてから家族と話し合い

ハザードマップやぼうさくバックについて話していくをたいです。
今回の話を聞いていつくるか分からぬ自然災害のことと想倉にして、しなり人につたえていくことが大切だと思いました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

安全、安心のための情報(資料など) → 伝わる力アリ

阪神淡路 → (6434人) 亡くなつた
→ 之前と載せて被害者を数う。

手すり 自分の命

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

地震 → 無くしたものとそれを含めて残していくといつても

ものために日々意識

記憶 → 記録する。災害現場の写真を撮る → 逃げながら撮つて。家族話すに必要な

外の風景を見て地震を実感。早い経験 → だからこそ話せらう
TVの情報 →

「物」だけでなく、「心」がまたつなげられていく

人命と人権

地震で脚がもろ → 波浪がもろ

→ 学びをつなぐ力アリ

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

まずは自分の命を守るために意識が一番大切であり、そのために家族との会話や日々から意識を高くして大切にと努力した。

また、記者の方は、逃げながら、災害の記録をのこすために活動する記者という行為、とても難しい仕事なのだと感じた。社会の中において必要なんなのか、自分も、ものとさには新聞などから情報を取り入れようとしている。

最近に地震を経験した人がいるのですが、その方がから記憶を振りつぶさないように

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

取材をするときには「いつかは死んでしまうから、何をしたらいい、何でない

帰らなくて死んでしまう。そのまま死んでしまう。

ひきもんしてても、熱などが出て死んでしまう人もいる。

明日があるとは限りない。1人1人に人生がある。

読者を「かけます」記録

アキラでは
名前でのぞる「彼らの行動が何だった」

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

みんな地震がおきにあとは、生きるのに死んでしまう。

親は子を守る。

自分をかばせて、上から自分自身を守る。

写真を撮るとき「この写真、役に立つんだろう

→水をくんだりしたほうがええんどうか?'

神戸が(=けが)震度がでていたよ。

取材で「逃げた」という。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

第1部の話を聞いていたときは言葉が出て、頭が真白にならず、T=「テレビ」とかも含めて5人くらいの人にしか地震にあつた人の話を聞いたことがないから、怖いものっていう人はしきりにけど、話を聞いていくうちに「怖い」じゃなくて「普通」に変わった=「やは」「考え方かもしれないけど、ひどいのかな」というふうもあたらしく、怖いと思っていた人が考へ方もしなないと、なまぬたり、準備をすることが大切だと思つた。第2部田舎でもけようより、なまぬたり、準備をすることが大切だと思つた。田舎の話を聞いていたときにみゆさんが、「記憶を記録する」という言葉を聞いて、いつも絶対の話を聞いていたときにみゆさんが、「記憶を記録する」という言葉を聞いて、いつも絶対に阪神・淡路大震災にあつた人は死んでしまうから、私たちは次へ次へ伝えていかなければいけないと思つた。そのT=私が地震の話を聞いてうそのままでうそを伝えていたE=「うそを伝えていた」と思つた。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

・写真で伝えづく

→優先して

・安心する記事

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

・写真で伝えづく = これが大切

・被災者の表情

・話せば話してもいい

→話す貴重な経験

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

私は今回の講演で「あの日を忘れない」という言葉が「おもひに残りました。
明治「おもひに忘れない」とも二つ並んでいましたが「おもひに」と、私は自分の節、周りの節
を守るようになつた感覚が強くて、それをうなうとしていました。
「帰らぬ家」の語り合いで「防災」と「避難」を確認しました。

兵庫教育大学附属中学校「防災学習」

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

「私は知りたくないのを教えて下さい。→自分にはいもじらないので
教えてということ」

語り手の人から高齢化していくので自分がうけついで伝えしていくことが
大切。

三好さん 1992年 92時間の壁 消はう車× 津波一つ歌のかぎ元氣を!
神戸ルミナリ 日分の命と
どうすか

6434人が死む
(人々を死ぬ
ことの大切...) (人々に
人生がある。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

生きることにけんめい → 自分の命と 親は子を守っていました。
記録 まもる。 一つせんたくで人生がわかる。

新聞記者 | ひがんじゆく 家族といはむ
ひがんぐわくとく
本当に自分の周りでおきたときに 新聞をかい、遺族につたえ、新聞を
かくことぜんばにこのことを
よくに記者として写真をとれるのか?! してもらえる。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

防災が改めてわかりと感じました。
家族たちともしつかりははしてそなえていくと感じました。
このはなしをしっかりと受けたいたいと感じました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 一番 名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

テレビや新聞に失礼な取材でいうのが"レ"に感りました。

新聞を見て安心できるよう

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

新聞記者さんも写真を撮るよう、ういう地震があったときに命をかけて撮つてしまふ人がいたためにも自分たちの行動を戒めなければいけないと思っておもつた。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

地震がきたら"レ"へあらずやが"ちょこ"てニ"レ"もはなしでいたりうが"レ"でありますからね"た。

新聞の7日間(?)の映像を見て地震の怖さをあらためて感じたし、新聞記者の目的や、いくら下支えも写真とか記事に自分で"レ"や"手"で"レ"り"手"い手"た。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

◎内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

・取材の時は、まず「私は震災を知らない」ということを言う。自分の命をどうするかが大切

・震災を知らない世代から次に震災となっていく。

・災害はいつからいつまで。

・新聞(有事のライセンス)

・災害は繰り返す「備え」に重い。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

記憶を記録する。防災・減災するにはどうしたらいいのか!

近隣難民への支援

命を失わないように。阪神淡路大震災

こんな人の人生を失らない。弱い命を尊重

ということ

一つ一つの災害から学ぶ

そのも=多くの命を救うのが目標

でもモニタはどの意味を指しているのかと考へ

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

あの人は、災害に対する対策をおこなっていとかもしれないが、その災害を知るよ
くないまでも、こう聞いといたのが実際は、前のことが起きたあと、想定外の事をやじめられ
てしまうことがありますか? それなら、もうこのまま読まないでください。
次回の、現場の様子を近づけていくかな」と、もととされる人が増えています。でも、それ
から、しっかりと知識をもつて行動しなければいけないとあります。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

本当の意味で震災を知る人は少なかった気がしました。それでも私は震災を経験して、その時の怖さをいかにあんまり知らないなど見つけました。震災を知る、そして伝えようと努力していこうと決意しました。本当に色々大事なことが見つかりました。震度7でものすごい風景を見ました。地震は運命でしか偶然でないともう少し理解でき生きる力として怖いと思いました。000人が死んで何とかニースでやつてしまふけれど、この1人1人に人生があるといふことを頭に入れておきたくなりました。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

昨日の即ち困るのはとても難しく思って、テレビ、新聞と写真でのニュースで全国に伝わり、これがどうであるか、どうかしたくて、芦原の子どもたちにつなげていいのかどうか見てみた。

その日の出来事も含め、どうぞ音や背景があり、どうして想像にはかけないところが、一人一人と見分けました。

実際にみると私は恐怖でうなづきながら震災を見ました。でも、目の前の即ちでやめている人々で、それに助けたりし自分もやむを得ないよう自身から

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。不完全なままでも結構です。

1部の話を想像しながら聞いてみると、ビデオを見る。名倉さんや三好さんは前よりはもう一地震、もうやうさんな人だなーって感じた。それで話を聞いて改めて見る。うわー怖いと見つけました。「地震はかかるからね」というのが、1人1人のものなの子供も大人がいるから、かばあさんも1つ1つ話しあっておこったら、それが何を1人1人教えることか!一番の答えになつてくるのかなと見つけました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

1分1秒を大切にして今を生きていかないとダメだなと思いました。
72時間立ても救助隊にこない。消防車が来ない火事もあった。
ルミナリエが建てられた。1995年に地震バトンの記事もたくさんでアーティックリしました。
この地震があつからこうした対策や見直しができている。
死者は約600人以上で、0434人。
一番大事なのは、必ず自分の命を守る。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

パネルディスカッションに出た3人の実際にあった経験を聞いて、とても印象的。
田中さんが持ってきた写真からいろんなことを学びました。
僕たちが聞いて伝えないといけないと、うことを学んだ。
記おくを記録することが大事。今自分が出来ることを考える。
地震が起きてからは26年も経ってしまったけれど、26年目にいうなど、その人が死んでしまってから、といけないと感じたから、いつでもいいと思いません。

○最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

今日防災のことについて学んで、今一番大切なことは自分に出来ることを考えたい。そして地震は、いつ起きるのか分からぬいのにまだまだひなんからなど確実に分からなければすぐにうつうことなどを知りました。
そして今日聞いたことは、次の世代に伝えたいけるようでしたいです。
僕はまだ大きな災害にあってないか?もっと早く知り、自分で自らの身は自分で守れるようにしていきたいです。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

25

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

亡くなれた人の両親に

“かわいそう”とおもうのは失禮

12時間 1人1人に人生がある

安全安心の情報

自分の命をどう守るか

家族と
仲間と
はなしあう

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

当時のことをよもいだすために写真

新聞記者を残す

としてのしめい

自分の
“まよく”を
のこす

震度5 → ショベルカーで

家をゆりされているかんじ

目の前の人がはなそうとしてくれていなんからには

にげずに最後までく

○最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

2人の新聞記者のはなしをきいて、

名倉さんのおはなしはすごく印象にのこって

大事にしてることで「目の前の人が語そうとしてくれて

いたるその人のはなしを最後まできく」と

いうのが新聞記者としてだし、「よもいだすため

に写真をのこす」というのがしめいっていうのが

すごい仕事だとおもったし責任感がある仕事だな

とおもってすごいなと思いました。

祈る
つなぐ

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

地震がおきた時のつらさや悲しみには体験した人しか
つかからずいから矢張りかがりをしてきて取材をすることが
大切。

6430人 やべてくた。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

地震を思い出した時のつらさ 記憶を記録する
親が必死で守る姿
逃げてはいけない

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

地震の映画を見て改めて地震の怖さが分かった。

日頃から準備をしておかなければいけない。

家族と話し合いを日頃からしておく。

いつも地震などがあるからからないから日頃から準備を
したり家族と話し合をしっかりしておくことが大切だと
いうことが分かった。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

阪神淡路の震災は、どのくらい人の命を失ったか。
当時は報道のスピードが速くて安心だった。
津波で多くの命が失われた。
多くの人が亡くなってしまった。
命の大切さを学んだ。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

記録を記録するとかで印 勇気の印を守る。
命を守るために行動する。
命を守るために行動する。
命を守るために行動する。
命を守るために行動する。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

今回の授業で新聞と動画を見てきて新聞で見たり、読んだりしてこわがたり、すばらしく動画でも見て新聞よりこわさがあり、でも動画の方がつむぎありうけがた。自分でいままで、かわいそ、こわいそだと思って、新聞で動画を見て淋えがとうが来た。自分の命は自分で自分で人を助けることが大切

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

田舎で震災対策をどうしたらいい

72時間

工場倒壊、ビル倒壊の倒壊

私たちが知らない震災

かせういたいから

震災開拓

サリン事件

うとうとううううううう

コロナ、立候補

食料支援、母がす事が大切!

My 防災計画 「命を守るために」

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

手本をとるのか遅れだ → 生まろのせいいじへ

→ パンパンにまとめた

表情 本当にこれが人のためか?

一矢を切めて

防災に対する意識 ↓

実際に直面した経験による

第2希望する

家族の人と話し合ひ

あの風をあわがい
(あの風を生き残る人のことを)

一つの「災害から学ぶ

誰が命を守らより、

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。流れが

講演を聞いて、私たちが知らない震災のことを次の世代へ伝えようことが

大切だと分かりました。ビルが倒壊していたり、まわりが火の海に変わってしまって写真や被災した方たちの想いを記録に残すこと、それを私たちが途切れまいように伝えていくことが大切だと思ひます。

今回の講演、パネルディスカッションを聞いて自分の災害、防災に対する意識がまだまだ低いんだなと痛感しました。震災から学んだことをそのままにせが、日頃から備えに備えを重ねていきたいと思ひます。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

26年経た今だからこそ話せる、話さうと思つた人。

話したくない、今更同情なんかしてもらいたくないという人。

被災した人は沢山いるし、その人たち一人一人に考えがあり、その人たちの気持ちを汲み取る、記事にする。新聞記者の方は大変だと思った。

どんな一言でまとめれるほどのことではないが、災害に見舞われても、本社や支店が崩壊してもカメラや手記を持ち新聞を書く。それはとても格好良いと思った。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

言葉で伝えろ。それは震災や災害のサブだけではなく地域の伝統等でも通づることだとと思う。

阪神・淡路大震災。自分は経験していないといつても大地震。

知らないからこそ知りて、後世につなげていく。

これからも災害は数知らず起こるだろうが自分たちは

その災害を一つたりとも忘れないでほしいと思った。

何らかの形で見えるように記録し、伝えろ。ということであれ

大切と考えた。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

阪神・淡路大震災から26年。

震度7も震度6も経験したとかばなしし、親も兵庫近郊に

住んでいたもののあまり当时に聞いて聞かなかった

このような機会で震災について尋ねることの出来る

2時間だ、と思ふます。1,3年生からの質問もあり

当時を経験した人と、その経験を伝えていく人今後は後者が増えいくかも
その中でどうゆにして伝えていくか、考え中です。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

私は地震を経験したことはもちろんないし、その地震を経験して近くの人をたくさん方に出会ったこともないのですが、実際に言話を聞くことで怖さを身にしみて感じることは、すごく大きかったです。ことな人た=と思いました。

ビデオで、すごい大きな音がして、とても怖いです。それで、本当にあうとも、怖くて何もできなくなるんじゃないかなと思いました。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

ショセフさんや田中さんが実際に身近でおきたことを話していく、私の身近にもいるのかなと思って気になりました。

ご遺族の方が泣いているのに、そこを最後まで聞くというのは、全く慣れるすくつらうだなと思いました。

ショセフさんの意見にすごく共感てきて、この学校は、たい震もされていいと思うし、避難訓練も少ないので、本当にあきた時にう二けない人た=うなと思いました。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

今まで何回か、こういう学習はしてましたけど、ここまで本格的には色々考えたり、聞いたりしたことがないから、すごく良い経験になりました。そして、昨日用事があり、三ノ宮に行ったり、また、1.17のイベントをしていて、「あ、今日あきたんた=」とすごく実感しました。

阪神・淡路大震災では初めての震度7を記録だと聞いたのが印象的でした。それでも対策しても、自然には勝てないというのはすごく怖いなと思いました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

1番 名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

自分は震災を知らないので教えてください

災害はくり返す しせい

自分の命をどうする
かが大切

備えたゴミはから 親閑

安心安全

読者にはけまはな記録

震災を知らない世代の方へ

次の世代に教える

時代に…

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

記憶と記録する(写真をとる)

災害があきたとき
どうすれば良いか
うちあわせするのか
大切。

実際取材しているときは

避けない

今ある物(モニュメント)がどうしてあるのか
考え、何事などの意図かとあげて

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

今回防災学習をしてあらためて次の世代に伝える大切さを学びました。
地震などの災害はなくなることはありません、そのためしっかり意識して
普代から備えておこうかなと思いました。

その他にもこういった事を色々人に伝え言者の気持ちも少分かったよ
な気がします。

実際取材をする時は避けないようにしたり読者がはけまさるよう
記事をかっこいいがまえはすごいなと思いました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

安全神話の崩れ

72時間の壁

→人が生きる時間

神戸ルミナリエ

新開港

安全安心の情報

アメリカ
木では、
コロナで亡くなる77人
9.11前、仁義は
すべて書っている

マラソン難計画シート

火災も多発

→消防車がありは

長田区

で大きめ火災

死者

約6434人

1人1人を忘れない

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

記憶を記録する

震災だと認識してタイミング

→田中や家、状況を現す言葉

当時の事を語りうる

としてこれまで限り

逃げつけない

防災・減災の意識

「あの日を絶対忘れない」

→1月17日?

A. あの日で亡くなった人たちの
人生のこと

ハザードマップ

海に向かって

・防災への意識

の低下

・避難難小路

の確認

・荷物の直帰

いつ起きてもからならない

↓

家族と言めておく

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

自助 協助 公助

今回「防災学習」をして、改めて、

地震の怖さを感じることでできました。

当時のことや、記者の方が遺族の方と、語った時の事など、普段聞けない

ような事を聞くことができたのです。その中で、僕たちのものは震災を知らない。

人は怖いけど、思うだけではなく、そのためどう行動ぬかが大切だと感じました。
自分の命は自分で守るけれど、物トドヤを増えることで、死者やケガ人が減ると
思って、そのため何をすればと考えたくなりました。

つなぐ 言葉 人命と人権を守る

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

今すぐ大きくひばな建物がたてしるか!それはこういう震災かあり人が
死くなつたからということもある

6434人のきせいがでた 「備え」にゴルはなし

自分の命を守ることが一番大事 すべて

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

写真にてしてどんな伝えていくのが大事

必ずにれいせいかになる人やあわてる人がいるのはしかたがない

言葉ではかたに思われるような取材をしきじとかかげればなSない
いいかいひきうけたらこげちやダメ

防災の学習をしていても本当にきたときみたいにできてるのかと考えてしまふ
家族での打ち合わせをしてねは見える

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

今回防災学習で名倉さんや三好さんの話を聞いてみて今まで実際によつたことがないのではからなかたが聞こえてとても恐ろしいということがあつたし
まず地震にあたら自分を家に守るようにしてから他の人の事を考えることが大切
だらうかた。

ほくもテレビの記者にたいしてすぐそばにいるな助けてあげてと思うこともあつたが
実際に記者もろ思つが自分たちの役目を忘れないにしているからだといふ思った。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

◎内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

「知らない世代をどう受け継ぐか」
安全神話の崩壊 新→安全安心の情報
ボランティア 6434人死者
被難所でかぜ
津波でんぐんこ 自分の命をどう守るか

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

地震直後に写真 学びこと
意識

「あの日を忘れない」
～なくなった方の人生

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

話を聞いて、なるほど"と思うことがたくさんある。しかし、実体験の話を聞くことは、あまりないと思ったので"良い機会になつたので良かった。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

7番 名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

この遺族の方々に「かわいそう、などと思うのは、この遺族の方々にくつれい。
知りたがりをせず、分からぬ事は正直に“分からぬ”といふ。

(せつながれたがり)

安心安全な情報を!!

災害は繰り返す

自分の命をどう守るか

読書をおますより記事

!!人命・人権を守る!!

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

写真に残して、時間が経つ忘れいくので、当時の記憶を
碑文に残す!!

石碑が置かれている

記者の方は、命く精収集(記録に残す)

何かを感じる

当時の話を下さっているのであれば、その話を精一杯聞き、
次の時代に伝えていかなければいけない。

↓これ

“聞く”せいを持つ

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

三好さん・名倉さん、

あの日を忘れない→1月17日を忘れない

石野さん、ジョセフさん、田中さん、
雨宮先生、安永先生の話を聞き、

1月17日まで生きた方々の独特的の人生を忘
1回1回の震災から何を学ぼうか

といけない

からためて“命の大切さ”や、“今、自分が生きているという素晴しさ”を知りました。
私も、大きは地震にあたることがなく、犠牲を経験された方々から話を
聞く事くらいしかできないけれど、ただ沢山の声から話を聞いてみただけでは
なく、私たちに伝えてくれた事を忘れないようにメモして記録せたりして、
次は私たちが震災の事をたくさんの人々に伝えていくならばと思います。

“誰か～してやるだろ”ではなく、一人一人が、自分の事は自分で、自分の力は
自分で守り、アレアレスで誰かを助けるようになりたいと思いました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

心に残ったことは、「明日がわたり前にやってくるとは、限りない」ということです。「1日、1日の1分1秒も大切に生きなければならぬ」ということを学ぶことができた。

大切な人にとって、自分の話をしてくれる人は、より親密な人にしてもういいから、大切な人のことは、その両親に取材すべき。
どうしない→失礼な取材！

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

自分のハサードマップ

今後に伝えていく。

写真に残す。→日付が2月。
地震の直後は、
自分の命のことでいっぱい！！

少しだけでも当時の話をしようと思ってくれた人の話は、逃げずには直ぐに聞け!
このまま逃げ難いたらいいのかわからぬ!! / 備蓄や体の守り方など...
有難災害は、いつ起こるかわからぬから、普段から、備えよとが大切!!

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

今日の「防災学習」の授業を通して、学んだことは、

1つ目の災害から学ぶことが大切といふことです。この地震からは、こんなことを学んだり、や、この津波からは、こんなことを学んだりなどを今後に伝えていく。

これが大事だと分かりました。最近だと、感染拡大しています。

「新型コロナウイルス」という災害めぐらんなことを学ぶのか、

こうことを考えて、今後、同じようなことが起きないようい。

未来へ伝えていくことが大切だなと思いまして。常に備えよ！
そのための親闇！！

いつもおこるが、わからぬ。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年一番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

- ・知らない人から知らない人へ伝える時代になった。(伝えていくことが大事、知ってもらうことが要る)
- ・ドラマでもその生き力を伝えることができる。
- ・歌の力で支える。

- ・6434人→約6000人にするのではなく、1人の人生があったことを伝えるため。
↳うち1000人の職業・住所をかいだ記事がある。
- ・自分の命をどう守るかも教えてもらう。(子どもなど)

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

- ・写真を撮るのは、伝えていくのもうだし写真を見ることによって記おくのが
思い出せるし、記おくを記録するのが大事。
↳写真を撮れなかったのは、生きるといけない死だった。
- ・地震に関わった人たちの心情とかも学ぶ。
- ・これからどうあるべきかも学ぶ。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

- ・地震を伝えるために、写真を撮る以外にもドラマとかで伝えるのがすごく
わかりやすかったです。写真も十分伝わるけどドラマをみてたら普通に怖がったし
少しうつりでもその場の恐怖が伝わったと思いました。パネルディスカッションで
生徒が言っていたように、生きなり地震がおきてもううしだらおいかパニックになら
ぬから、他の地方のように何度も練習する、というのは良いと思いました。
・17日を覚えるだけじゃなくて17日までのことを覚えるとわかりました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

◎内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

目次

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

1. 取材をするときに、知ったかぶりをしない。

知らない震災をどう伝えるか
震災関連死 読者をはげます!!

ビルの倒壊

自然災害

地震・なだれ
津波・大雪
コロナウイルス

→ひなんばでかせをひいて死んでしまう

地下鉄サリン事件 ライフライン
トライアージ

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

56万部 神戸新聞

1. 言葉

阪神淡路
大震災

62人が
亡くなっています

2月すぎるまで、命を守るために死む 2. 人命・人権を
記憶を記録する 守る 差別X
その場から逃げない

垂直避難

あの日 1月17日まで生きていた人生

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

名倉さんと同じように、私は阪神淡路大震災を知らないけれど、私たちが伝えないと次の世代は、何も知らないことになるから、一つでも、伝えて、少しでも、何かを残していくかないと、何がいいのか分かりました。家に帰って、家族と何かあったときに、どこに集まろうと、いつも話を合おうと思ります。いつ起こるか分からぬ災害には、鳥肌がたつくくらい怖いなと思うけど、怖いとれずと言つては、自分の未来が守られるわけではないから、備えを重ねて取善を尽くし、まずは誰かを助ける人にたりたいと想いました。自分が誰かに責任を感じました

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

約600人 → 600人

身近な人に聞く。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

想像よりはるかに上の現実がある。

自分の命は自分で守る。

記録に残す。

写真をとるのが正義なのかどうか

写真家

災害から守る。

(備え)

神戸の地震

風化させて

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

神戸新聞社記者のがどうせ見て、聞くことができず。

今の時代はインターネットで情報が拡散できる時代

そのため、嘘を見抜く、たった1事実だと判断できる。

力を、目標から身につけていきたいくらいだ。

また、先人たちの教訓をムダにするのではなくよう

活かしていきたい。

自助

互助 公助

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

ご遺族の方に話を聞くのが大正解ですが、

6434人が亡くなかった。

1人1人が大切なので約100人。

身近な人に向かって失礼

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

記録として残すのが大事で伝えたいとしたいた。
えりもによって思は出してしまお

記おくを記録する。25年たたかう話せることがある。

思い出してもえてついにこれがね。

写真は世の中の役立てるのが

水を運ぶ方が大事じゃないのか。話を話していくのに逃げるのはよくない。

理科授業だけは物からないことを覚える。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

地震はいつおきるかわからないし、とれだけしても大きな地震では死者がいてしまうかも。
でもさかぎりにね。

公用車は震災直後にきていいが、そので、自らういてく。

言葉、阪神・淡路大震災を大切に淡路を抜かず。

1
死者がいるから。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

◎内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

① 家族が立っているときに取材をしないのは
しつれい。

自分の命を
自分で守る
ことが大切

→ 家族が25年たっても消えず。
思い出を伝えたいこと

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

② 自分の命よりも写真をやうせんする記者の人
はやつぱり、すごいことなんだよと感りました。

→ 地震が怖がったりせず、
写真をとることにこだわる。自分のやくわいをほんとうに
ことこのやうきがすごいと感った。

③ 日記の書き込みを大切に。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

・今回、みんなで新聞の写真や人の言葉を書く
記者の人々のすごさを知れました。

・こわいとか、逃げたいと思いつかなければ、
人に伝えることをやうせんすることはすごいと感った。

・誇張してよい人から逃げたいはいいがいいこと
がいいのになりました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

震災関連死 ← ボランティア元年とも言われる 独りずつ丁寧に答える。

多數 自分の命をいかで守るか

トライアルが大切 備えにはづけない

→ 優先順位を決める。

報道 → 寄り添う必要がある。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

記憶を記録する。 常日頃からの意識が大切。

→ 生かされた使命。 対応できるように決めておく。

制御する。

立体になれた記念牌。 → 何を考えるべきかを考えることが大切。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

自助・共助・公助すること

→ 緊急時に適切な対応ができることが大切。

防災学習を通して学んだことは 有事に適切な行動・対応ができる
大切で過去の事例を元に学んでいく。 想定を高め対策を練る

重ねることで安心感につながる。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

新聞

26年前がすぐに思い出せろ(あとでうま)

みんなが安心安全になれるように書けてる

安心安全

報道

心がけたこと
私は震災をしりません
うだら知りたい

地震も怖い

けど地震

のあとに

おこる

二次被害が

小布刈川

正確な失敗じきくつけいかが浮かぶ

1番近い人に自分の話を
してもらいたい

心のよんどが
ちがう

声がかけられなかつた

地震がこわいって書いてまとめられるけど、13人が怖さがある

え、ロッカーカ
する
ガラスがわれる

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

人の命を守ることも大切だけれど、自分の命から!

1番は防災省をつくったやいい

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

今このひと間を大切に1日1日を生きていきたい。後悔のないように生きたいと思は
いた。時間のことばかり考えて自分の意見をバシバシ言えなくて、みんな言ふことばにな
ってしまったのが心残り。。。だけど、1番近くで先生や友達、記者さんの話を聞いて、真剣に
心に刺さって「今日聞いたこと、見たハサウエー、見た動画」を自分の心に受けとめて次の
世代につたえたり、加西市の友達に伝えたり、家族と一緒に話をしていくことを思いました。
私は初めて地震が怖くて地震で死んだら...?とかを考えるのが怖かったけど、雨
宮先生の「怖いってだけを伝えたいでしゃない」と聞いてめっちゃ心にあって
きました。

これからも防災学習をしっかりしていきたいです。だって「ねえあつ
うれいなし」やから!!

地震

他の二次災害

かじ
火さい流
液じょうがげんじゅう
ぶれか
つなみ
土石りくずれ
なだれ

社会

地震がおきて
おわりじゃない
次につなげる
(防災)

加西に住んで
山崎断層が
通っているから
近いうちに地震が
起まるから

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

遺族の方に取材しないのは失禮れい

まず、自分の命をどう
守るのか

、京都新聞に助けをもらって。

→ 七くねつの方は一番近い人に話してほしのでは...?

地震の次の日

知ったからアリを

しない

備えにゴーレムはい

いつも笑顔な子

こわい顔。(七くねつ)

→ ひがか木きほね枝(ハサワ)

のようだ。

まだカラスがすへてやれる

震災を知らない世代が次の世代にどう伝えていくのか。

新聞は

安心・安全の情報を
読者に届けます

1日1日に大事にしていかなければ何をどう伝えるのか。

*1人1人に住がめ、下。

いのうに災害と向きあうか

→ あの日を忘れない。→ ひがまれて
いた

→ 1995.1.17まで生きていた人たちを
忘れない

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。(でも、記ろくいはいと
忘れる)

地震がおこったときは生きるごとにせいい、100%

一点をせつめて...

災害の意識

→ 避難経路、教科書で「頭を守るのは知ってるのか」

→ びちく、もしもこうたら...

日ごろから

備える

一つ一つの災害から学ぶこと

自分の命は守れるように日頃から

→ 学んで、備えて予想外のことから
おこう

→ 友だちとかを守るのは次。(ていう)

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

一番大事なことは自分の命を守れるようにすることだと分かりました。

これから自分たちができることは、震災を知っている方の話を聞いて、次の震災を知らねない世代に、被災者の気持ちをできるだけそのまま伝えることだと思いました。

震度7は経験してないかもしれないけど、身边に当時のことを知っている人がたくさんいると思うので、自分から聞いたりして、次の世代へ伝えたいと思いました。

・25年下。だから、
・何も知らないから... => 少々としていた。

しんけん開けて逃げない - 当時のことを
少しだけ話してくれとうから...

災害に対応できるシステムを作る！

→一番の近道ではないのか。

自分が忘れたくはない謙をまだれかに伝える
→次の世代へ

25年(節目)がすぎるでも学んでいくことが大事

阪神・淡路大震災

→淡路でも被害があり下
ぬかりではないように。

人権を大事に

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

◎内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

·「知らない世代」から「知らない世代」に伝える

·自分の命はどう守るか

·安全神話の崩壊

·72時間の壁

·安心安全の情報をお伝えすることが大切

·災害は繰り返す「備え」にゴーライではない

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

学んで学んでもそれをこえてくる 自分で何とかする
それから友達を守る
·自分は経験してこない
·何かが知ることだけでいい
·命と人権を守る

·身元をみるようゆうなんてない

·常日頃の意識が大切

·地震を思い返すきつさ感

·10ヶ月にはま

·実際に起きてしまったら

·あの日…あの日亡くなれた

·助けることも大事

·その日まで生きていけること

·記事で助けることもできる

·地震で助かるでも二次被害がある

·津波(は)思っているよりもものすごく大きくなる

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

映像や写真をきいたり話をきいたりして、すごく地震(は)怖いものではあらためて思いました。

写真はそのことにについて思ひ出したことかで見るもので、そこにはものすごく怖いと思ひました。

ショセツさんが言っていた通り、私達、私自身も災害に対する意識がきていたのは思ひます。家族ともあれ地震とかについて話すことほんとあります。だからもっと身近に感じることが大切だと思ひます。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

名倉さんの取材した小学校の話を聞いて

前日まで「あの鳥張」を書いていた子が「災害でなくなり」

明日があるとは限らない、1日1日を大切に生きなければならぬと実感しました。

三好さんの講演を聞き、そのときのじよきょうや記事の大切さが分かりました。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

震災が起きたとき新聞記者は言ひ憶を記録するため写真をとる。

その役割はとても大切で未来の神戸のためになりたいと思った。

表記録されたもの物理的に残っているものを見ただけでは足りないと思った。
そこそこめぐられた思いや意味を直接聞くことでほんとうに伝わっていくと思ふ。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

防災学習を通して災害はいつ、どんなときに起こるか

分からぬから、何度も情報を共有しておきたり、被害を下さしたいと思った。これから行動力が変われるよう努力したいです。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

◎内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

知らなない世代から知らない世代へつなぐことになるといふこと。自分の命、友達の命、家族の命を守るために避難計画マップを6434人のうちが亡なられた。約10%のは、1人1人の命があったから。遺族の方とお話をしたからこそ、感じる地震の怖さがある

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

時間経ったからこそ、お話をきる方もいらっしゃるということ
防災学習をして、また「またまた」etc.で話さないと、いざという時に、困ることが分かった。

モニメントを見るだけじゃなくて、何を感じるのかが大切。

あの日は、その日まで生きた方を忘れないということ。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。ハガードマップはこれまでの経験
私の家から、外に出て1分歩けば、山崎断層があるので、何からかの被害を受ける可能性が100%に近いというより、確定だと思うので、何年後でも、いつでも、危険感を持って、行動していきたいです。明日動く可能性だって0%じゃないし、私のいる所で家族が亡った。みたいな事になる可能性だってあるし、避難場所は決めていても、避難計画路は決めてないので、家に帰るから、ちゃんと決めたりです。自分が達が動かないといけないというのを理解しておきたいです。
自分

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

この震災を今から一世代が伝えていく(伝えたいところではいい感じ)
地震でどう明日は無くなるか

地震(震度7) 物の普通は壊れる
(壊れる)
左右上下に揺れる

新聞…非常事態で安否安全などを聞く。
他の人のために自分の命とどう守るか。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

実際の地震が起こるとすぐに写真で記録しておいたり、その写真を教科書に載せていく。

話している人(震災を経験した人)から連絡がある。

七つ子の命は無駄にはしない

阪神・淡路 大震災

被害があらためて

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

今日は、地震の怖さを改めて感じました。
第一回の名倉さんの話で、青枝明人・子川さん(1995年2月)の「ついで怖い
話」と第二回の名倉さんの話で、阪神明人・子川さん(1995年2月)の「ついで怖い
話」として、この二つの話で、地震の怖さを感じました。
私は、どうしてか、震災をかみ付けて、地震が吹き寄せられて伝わるのです。そして、
子川さんは、どうしてか、震災をかみ付けて、震災が吹き寄せられて伝わるのです。
この時は、どうしてか、震災をかみ付けて、震災が吹き寄せられて伝わるのです。
自分、命、最後会いして、それ後は、他人の命を助けることを決意しました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

- 震災の事を全く知らない私達だからこそ、
学習していくかないといけないと思いました。
- 新聞だから分かる事も分かった。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

- 講演をうまえて、震災を経験した人にしか
分からぬ事を考えていかないといけない
んだなと思いました。
- そのじょうきょうになった時自分はどう考えて行動する
かを考えさせられました。

○最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

被害を受けた人にしか分からない事が
あるという事が分かった。

知らないせだいが受けついで"次のせだい
に伝えていかないといけないと思いました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

知らない立場

「知ったから」をしてはいけない。」

これからは

震災を知らない世代→知らない世代へ

受け取らないで、簡単に

「誰も運べろうが」歌の力

災害は繰り返す
備えにゴールはない

26年前、た今でも大粒の涙

泣いても誰もうそしてくれないから

逃げではならない

阪神・淡路大震災・人権

ひと助けるのは大事

下に立たせ

自分命にかけり

守れ

講師 有事のライン
非常時 安心・安全の情報を

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

記憶を記録する、圖

ある一点を見つめる表情

最後まで逃げず、話を聞く勇気。

地震が起きた時、(災害時)の対応(親と決め事)

つなぐ

あの日のことを忘れない

たれ、た人の生きていた日を忘れない

つながる事

1.17 つながる

にちぎれたモノメント

つながる、意識

1995の災害から学ぶこと

備えても足りない

(自)

車んでも車んでもそれもこえてくる。

講師へも今しか

聞けない

公助 一番ひとり所へ行、てしまう→自分でしなければ

ならない

共助 誰かを助けろ? まずは自分の身だ

をつかうでつながる、助けることはできない

今からの行動を変える。

これいきをさせないわけ

今学校にいる先生に

頼りすぎないわけ

生徒が先生をひねる

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

26年前に、阪神・淡路大震災が

起きたからこそ、今、私たちは、防災(地震)に

ついて深く考えることができ、これから

起ころうとする地震(災害)に備えることが、準備すること。

この(地震)これまでにできているんだねと改めて考えられた。また、これまでに

起こった地震の一つ一つに学ぶべきことがあり、一度でも、とぎれてしまえば、次の

(震災の教訓)

震災がくるまで本当の方がろしくを知らずに過ごすことに対する人に「うな」と思うと

すごい「リッ」をするようなことで、今、私たちは受けつき、次の世代につなげていくことが重要な使命なんだなと思った

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

◎内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

あかりさん→名倉の手本
地震の恐ろしさ
笑顔→小布い籠
両親→泣いていた
声をかけながら泣いていた
小学校
震災がたくさん
アクトがたくさん
震災時代から知る時代へ
災害像
安心報道

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

表情
東京でも感じる(いふ)
家族仲間とどうするか
伝えたいこと
神戸だけない(表示されない)
守ってくれた
逃げてはいけない、逃れないと
言叶意の記録
防災の意識
窓ガラスがれる恐怖
確実に必要な
日本語課題
防災省くる
大事
最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

防災学習で、お二方のお話を聞いていて、
第一部で三好さんが話されていた、地震の様子や恐ろしさを、
その後にあたビデオでもみれて、そこで思ったのが、
ビデオの中でおまたやれか本当にあなたと、自分たちはどうなる
のか、
いつも知らない災害について、今しきり考えないと
思います。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 1番 名前 _____

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

地震の怖さは、少しだけ自分自身分かって「3方7=」と
思っていたので、周りの人にはそれを伝えたり、人でも助けていたいと
思いました。

千葉の友達の事を半ば 180° で話してしまって、本当に
申し訳無くて後悔で 180° です。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

し下かるいよいよ。

ことわらわることも大切に。

記者は悲しくても伝えなければいけない。

おじとさくして
共有

記者は悲しくても伝えなければいけない。

自分でしゃべ

表情

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

りあれ…災害の日を活むと直見つめる

ゆうれん…母が記憶を記ろくにのこしている

あの日…木刀じゃなくて、1.17でなければ人の日

自分が思って1.13災害
を学んでそれをと
くるから、せんを
かんかえろ
いつくるかもからぬ

1.言葉

2.人権

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

自分の命を筆にかんべえる。

えしたら人もたすけられる
母とひなんの話をしげはからめて、ほほていて思いました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

地震は古より怖い

知ったがばかりをしてはいけない

子供の両親 ⇒ 大粒の涙があふれて
いろ ⇒ かがむか言う勇気
かぎない ⇒ 失礼

がテスが割れて寒たい風がふいて
いた。
安全神話の崩壊 } このような誤解
72時間の壁 } が生まれた。

自分達の世代から次の世代に受け継いでいく
大切なことであって、今から始めるといいな

被害報道ばかりではなく安心報道
大切
備えがエラではない

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

・写真言葉を残していくことも大切 ⇒ 記憶を残す

・災害時はパンクになつて
しま

・自分の身を守る

へいとめてあと

・冷静だったが、また地震と実感ね。

備えを
重ね
も

・家族と仲間と話し合う

・災害にて
調べたり、対策
などをしていくこ
と大切

・真剣に聞いて逃げないことが大切

・ある程度の命は救える

・くつろった石碑を水流でいる

・1つの災害から

・あの日…1月17日まで生きていた

て見るのね

学ぶ

人の人生

・防災誌
などを見るぐら

なにを感じるのか

（→走って驚く）

自助

公助

共助

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

今日の防災学習を通じて思ったことは、阪神・淡路大震災や東日本大震災などの災害から教訓などを学ぶことは大切だと改めて実感した。そしてこれらの教訓を自分達の世代から次の世代に伝えていかなくてはならないということも大切だと第一印象で思った。第二部では家族や仲間と話し合って近年莫佳所の石碑認定・自助・公助・共助の3助が大切だな~と思った。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

- 地震を経験した人に取材をする時は知ったかぶりをしてはいけない
- 72時間の壁
- 死者は6434人
- コロナによる死者を追悼する記事

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

- 自分が地震にいたら、写真を取り、日々をろくしていく。
→次の世代に伝える。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

- 地震が起きた後ではなく、起る前に準備をしっかりして。
どこにひまししたらいいのか事前に調べておいた方が助かるのではないかと思いまじ。
- 地震が起きたら人の命を助けるの大それやけど、それよりも先に自分の命を優先して、安全な場所へ移動することが大切だと思いまじ。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

「まず自分の命を守るために」
第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

・26年もたったと私は感じるけど被災された方にとては26年のようにひんぱんだと思つた。
→ 私たちは矢口ることが大切だとあらためて感じた。
矢口っているふりメモ + 矢口うなづから矢口ることが大事
必ず明日があるとは限らない少しずつ経験されてる方がいるからこそ、私たちが矢口)伝え
旧日を大切に!! で、どんどん震災の教訓言葉をたやすくする事が大事

・いきなり地震がくる → ゆれていることよりも机がとんでもたり立ることに恐怖
安全神話の崩壊・沿岸集中で病氣になつくなることも! 一人一人約6000人 × 6434人
72時間以内だと助かる可のせいか!! 新聞 → みんなが安心にくらせる情報を提供

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

・直後に実感できた(矢口うなづから)
出来あがった(矢口)
→ 25年たったながら、やっと話せるようになれた。
ホッとしたような表情としていた。

・言ふたくなり→TOPとかけようと?
→ 話かけた(矢口)ことかられる
途中に寝てしまふ(矢口)して、寝起き(矢口)

・家族と仲間と、災害がきたときどうするかと言話し合ふことが大切

・1717の災害からまなん? いくこと
何年たつも、耳に入りみをつづける
言葉・いんめいと人権と

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

・しっかりと防災について学ぶことができました。いつも心から分からなかつた。今、どうぞうろこをしきり込みてきました。今、また大切にしたいとかんじた。そして、もしまた時、たいへんでもうじゅんびすることも大切だとわかった。
・災害が近づくから、となりに住み、教訓言葉をどんどんつなげてきました。とおもつたら、やさないようにして。
・自分の命は、自分がくじけにまもれようとした!!

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

◎内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

- 明日がくるとは限らないから1日1日を大切にしないといけない 災害の怖さが分かった
- 辛い思い出はきくのがむずかしいと思うけど そのことを伝えていくことが大切だと分かった
- 震災のことを知らない人に語りつくす
- どんなときも、読者を大事にして情報を届ける ★自分の命を守る

三好さん
じいさん
一がたすかわる
ロッカーライフ
あはづね
アート

1歩ずちがえ
るべ
レバ"レバ"

＊3日以内だと
たすかるからうせい
がある

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

- いつおこるか分からないのが「こわいし、気に大切な人が」
いなくなることもあるんだと思いました。
- 最後まで、その方の話をきてことで「うけつぐ」とかでできる
- 普段から、防災について考える
- 実際に見て、そこからどう考える
1/17まで生きていた方を忘れない(名倉さん) 御沙汰ありがとうございます
- 1/17を学ぶ、1/17の災害から(三好さん)

・アシタビ
ドウ?

・見つめただけで
つかれた。

「神戸新聞の
7日間」

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

- 小学校のときは「防災訓練」としてただひなんするだけだったけど
今日、話を聞いて、災害は自分にとっても身近なことだし。
自分の住んでいるところでおきてないから、ニュースで見て
「こわいな」で「あわるんじゃダメで」その災害から何を考えるのか
や、もしもこうしたらどうするのかを言われる前に考えれるよう
になりたいと思いました。
- 実際のはなしを聞いて、ビデオを見たとき災害ってものか!
どれだけこわいのかがすごく分かりました。

何が大切で
何を考えてるのか

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

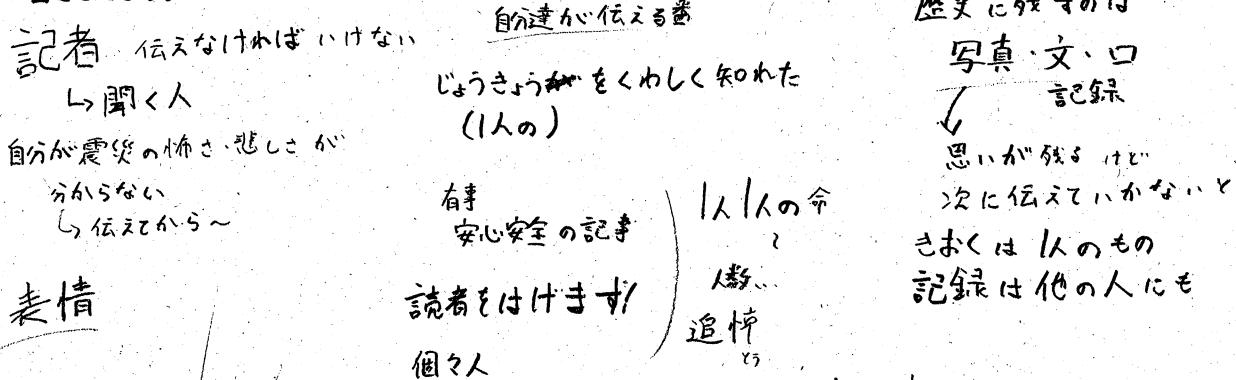
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

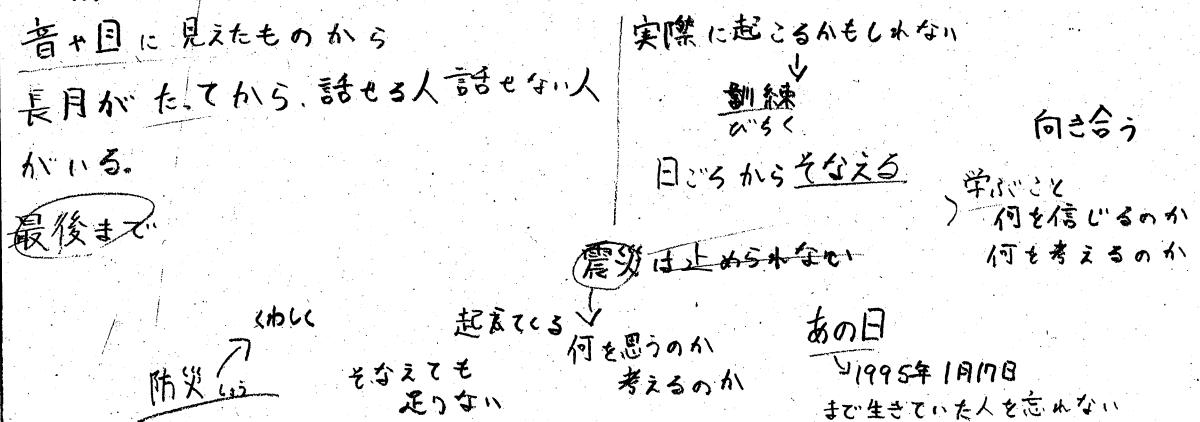
パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。



◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。



◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

これからも災害が起ころうそのためには、民、1人1人そなえて準備しなければならない。まず、自分の命を守らなければならぬと、他の人の命を守る事も目指すことでもない。今までにあた様な災害から学んだ事を私たちが知り、この次に伝えなければならぬ。歴史の中に残すのは、文、写真、言葉...、今回では新聞に残された情報から私たちは学ぶ事ができた。当時のじょうきょうや思ひなど知ることができた。被災者本人の思いを聞くことができた。新聞は「伝える」だけでなく、読者をけましたり記録として残したり記者・取材した人の思いや考えを広めると分かった。いつのこうみに伝えたい事がわかる。そして、記者の人から深く聞いてくれたからこそ、その言葉などの意味が分かる。これから私はどのように行動、考え、伝えなければ良いのか考えるきっかけになつた。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

今聞いたことは忘れない、多くの人たちがつたえていただけではなくらん
と思つた。じいじはどうものかをあなたからしてやめたかったと思ふ。
死者6434人となぜかと書いてありましたが気が付いた。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

もし自分がどうがいいにあたら、写真などをとりやすくして、次の世代に
伝えようと決意した。(どうなにかとも)
家族と一緒にいつのまにかで写真と笑ひました。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

自分たちはひさいしていなければ、ひさいしていなければ今日は言っていたり
家族と言いましたとおもいたし、写真などをして記録に残していくことはとく
にせつだなどあなたにじっくりしました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

音名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

◎内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

20年半以上も震災報道

新聞記者が

被害者へ訪問する→世代交代→つづける

(3か月) 1年

アーバン化とともに、リスクが増えてる

アーバン化 1.レジナウエ

日本初めの都市型地下震

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

写真を撮り、1月で下見から→その時は生き残った、でも、

記憶より記録の方が、よく覚えてる況み

「1月の被災者が学ぶ」 新聞記者の仕事 阪神淡路大震災・阪神淡路大震災

震災+32年。今から語るよ。

淡路で62人を救出

一回聞いたらもう聞こえ、何かが言いたいのが必ずまたきていていいのです。

これまでいいです。

それを話を聞く。

家族と仲間と仲間

1月17日でやむなに 1月17日まで退避したくなる

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

今日の学習をしてみて感想は、とても震災災害に対する意識が変わりました。

い、自分が何から何までこの時にどのよう行動すればいいのか、

とても分かりやすくて、とにかく冷静に行動する方法を学びました。

防災学習で学んだことを活かしていきたいと思う。家族と仲間を守る。

弁護士などあわて思ふへどうするべきかを考えていたら、その時は守るには

冷静になれると思う。僕も阪神淡路大震災は忘れないはくわしい。

「被害者の方は→世代交代→後につづける」 まず生き残るのをしろ。記憶、(2)

残れ「記憶」→生き残る。自分の命は自分で守る。自分自身

それと生き残るために生き残る。あれ程防災について学んだことはない。

南海トラフもこんなと言われてはしこの年にあはる。山崎断層もある。いつ起こる?

大きくて強い地震が起つて対策して、これが生活していくときに大きい。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

災害で明日死ぬかもしれない、災害で～

というのを、人に伝えたくない、地震でいちばん人に伝えなくていいと
対策ができる。→ はくはくした人がいるからこそ、できる。(学習)

地震が起きた1秒前にどうにいかか 新聞は、災害時、記者が
なにをしていいのか、で自分の生死を分ける 安全でなければ情報と題す。

神戸のあらゆる町、建物がぐちゃぐちゃになれる。自分の命を守りか。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

ビデオから、記者たちも、人々に、よりよい情報を提供するために命がかかるとアリテルとわかりました。

今回のパネラー3人、雨宮先生など、実際に地震とともに近く存在。

→ 親や友達が震災を体感 地震を体感し 命をつなげた。

実際に地震が起きたとき、どう行動できるのか、命をつなげた。

自分にはなにができるのか。

見つけてはいけない。

答えて、感じてみる。

人名、人格を守る。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

自分たちは、今まで、2011年の東日本大震災、

熊本地震など、体感はしていないせんか。実際にその時、テレビでは、

見て見つけました。その時に、どう行動するか、そして起きた、

できることを考えると、また、恥ずかしいのでアガル、記録する、そして、

また伝えていく、ということが必要だと思ふました。

これが日々から、地震(いろんな災害)がない言葉でもし。

この対応するか、答えて、生活としていくことが、必要だとわかりました。

災害を実際に体験することで、災害の恐さが、わかる、学べる。→ いつも知る 自分の命を守る。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

安全神話の崩壊

安心安全の情報
読者をはげます記者

自分の命をどう守るか

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

講義にても実際行動ができるのか

じしんの後の写真をよく見ておこう。

家族や仲間と話し合う

“あの日も死ねば”

あの日→17日を忘れないのなぜか?
17日までの生きていかれた人?

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

大きなかじしんを経験したことがなくて。

これさ、がどうしてたけどくわしくわからん。

あたらしくまんまとこもあ、た。

ビデオやはなしをきて、もし自分におそって

きたら。。と考えるとどうしたらいいかわからぬいし

「こうすれば!」と思っていても実際できるのかと思ひました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

◎内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演

「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永

テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

20年以上も涙を流す このうれでこの音で死んぢ
心の温度 しつかがりとしない 知らぬ内で失礼かも
そろそろ被災者がいなくて 世代交代などうつたげで
いいのか。それで被災者生き残り起きても! あれ、ロッカーがとんでく
ガラスいっせいに 外寒い 他局の人たち現場 ボランティア元年 1月にナリ工
ちり吹きやくわせじゅい 有事のライフライン
忘れまい 死者でついとう 彼らはわれわれ方

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

鳥を見つめる母のかばり 地震が起ると 写真を撮られるのか?
命を助ける? 写真? どちらを優先? のか
神戸がほんとうですか? うらやまとは? ほんとうをわざわざこれでみるのもうるさい
語をほんとうに? (うらやま) もじやあこれまで... X
それでもあつとは教えて下さい O
豈から災対策

帰らなき世

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

今回、防災学習を受け、防災・減災について学びました。

僕は(人災を体験していませんが) 17日を忘れるのはなく、

17日に死んでしまったかの人生をされないか(死んで思いました)。
一番重要なことはそこからです。津波がもっと強かった。(前より)
先人からの受け継がれることを文字では簡単ですが、語りつけていくにはよ
うにこれから的人生を生きていこう。
備えを怠らない部分であります。いんじんを複数語にしてい。
自分の命のあとで、他の命も守ってい。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

・知ったかぶりX 知らないから教えてください

約6000人X
→ 6434人

一人一人の
人生

・まずは知ることが大切!!

・一番こわいのは、振れる事ではなく、机などから倒れてきたり、ガラスが割れること
(安全神話の崩壊、72時間の壁、など…)

新聞は、「安心安全の情報を、書くことが大切

・「まず、自分の命をどう守るか」これを尊えることが大切!

阪神大震災X
→ 阪神淡路大震災

記録を大切に

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

・地震もこわいけど、2次被害もこわい

人名、人権を守る

家族とちゃんと
打ち合わせを

しておかない心
いいながら

・生きることに一生懸命

記憶を記録する

・写真を撮って後世に伝えていく

・新聞を使って世の中に伝えるのは新聞記者しかいない

・被災者の方の話は逃げないで、ちゃんと最後まで聞かないといけない

・今年の1年生は、コロナの関係などで避難訓練ができていない。

震災から
学んでいく

・「あの日」とは今まで生きてきた人たちの人生すべてをあらわしている。

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

今まででは、地震が起きたら、「地震が起こっているから、机の下に入らなくちゃ」、

「はやくおさまらないかな」「なんか振れて楽しいな」と思っていたけど、今日の

講演をきいたり、ビデオを見たりして、これから地震が起きたら、どんなに小さな地震でもとてもこわくなって動けなくなるのではないかと思いました。

でも、実際に起きてやうなったらダメなので、今からそんな場面になってしま

つ冷静でいるように、地震を体験できる乗り物にも乗っておきたいなと
思いました。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年

番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

明日がこないかと、恐怖・苦しみ、→1点を見つめる。

笑顔の子も涙の子も悲しいような怖い顔、→1点見つめる。

たまにゆれを感じるのではなく、遠説の気持ちにならざる者へ変わるところ。

想像以上の被害、ビルも倒れる、火事、エскаレーター、
建物の倒壊

被害報道をみて報道者 1人1人といふこところで6434人という数字が確実に

自分の命、周りの方の命と大切に、二次被害

運命。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

記憶→記録、1点を見つめる。(恐怖・苦しみかそれほどある)

震災は直後。窓ガラスが落ちてくる音。

娘を思い出す。はと。真剣に聞けて、逃げない。

災害が起っこりしまってからびは遅い。起ころ前に大恐慌を。話してみると

見るだけひなく、感じる。災害が起っこりしまうのは仕方ない。

あの間を生き残れない。誰も生き残らなければ!

死んでられた方。
(人生)

専門の機関

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

1.17で6434人という方が亡くなられたけど、そこから学ぶことはたくさんあると思う。阪神淡路大震災は、僕が経験したわけじゃないけれど、これからまたそういう災害に直面する。そういうときに自分にできることをもう少しの考え方でみくべきだと感じた。

(自分の身は自分で守るところにあります)

そして震災は想像以上の被害(物理的にも精神的に)があったと思う。経験したところでも1人も増えてくるとは思うが、これから生きていくことが生きている健達のものにしてみたいかと感じた。

兵庫教育大学附属中学校『防災学習』

2年 番名前

◎日時 令和3年1月18日(月) 5限・6限

○内容：第1部 神戸新聞社記者(三好 正文 氏・名倉あかり 氏)による講演
「震災報道を通じて阪神・淡路大震災を伝える意義」

第2部 パネルディスカッション

パネラー：三好氏、名倉氏、本校教員・雨宮、生徒3名(2年生)、司会進行：安永
テーマ「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」

◎第1部の講演を聴いて、「震災報道を通じて、伝える意義」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

うけつぐことが大事
一日一日を大切に

一人一人の人となり人生を報じる
一人一人の人生があるなどということを大切に
まず自分の命をどう守るか。

◎第2部のパネルディスカッションを聴いて、「震災報道を通じて、私たちが学ぶことは何か」について、大事なことや心に残ったこと、気になったことを書きましょう。

二次被害の怖さ

表情

記録にのこす写真 つたえていくことが大事

恐怖心

記おくを記録する

1月17日まで生きた日を忘れない

◎最後に、本日の「防災学習」の感想を書きましょう。

この授業で一日一日を大切にすることと、うけついでいくことが大事と
いうことを学びました。